

第11回 四万十つるの里祭り



■日時 令和元年12月7日(土) 10:00~14:00
 ■場所 四万十市立東中筋中学校
 ■主催 四万十つるの里づくりの会
 ■後援 四万十市、四万十川自然再生協議会
 ■助成支援 (一社)四国クリエイティブ協会
 ※このほか、地域のたくさんの事業者の皆様にご協賛をいただきました。

味わう

わいわい がやがや ツル食堂



四万十の野草がゆのプレゼント
 (四万十川自然再生協議会)



販売コーナー

小学生のお米販売



東中筋小学校の子どもたちが地元農家と協力して作ったもち米です!



曇り空の寒い一日でしたが、約700人の皆さんに來場いただき、学びと楽しみ、味わいを通じて「ツルの里づくり」に親しんでもらいました。

楽しむ

パフォーマンス



土佐中村一條太鼓

みんな集まれ!! もち・菓子投げ



マジック(陸奥出海)

大正琴の演奏(四万十クラブ)

ジャグリング(元山啓太)

プレゼント&ゲームコーナー



みかんプレゼント



わがし作り体験



スマートボール・輪投げ

学ぶ

ツルの写真等パネル展

(協力:高知野鳥の会・国土交通省中村河川国道事務所)



自然再生事業パネル展

新企画

つるシアター

中筋川流域に飛来したツル類の行動や四万十川自然再生事業を紹介しました。

土石流3Dシアター & 降雨体験機

(協力:国土交通省中村河川国道事務所)

豪雨を体験し、土石流の怖さを学んでもらいました。



土石流3Dシアター

降雨体験機

野鳥の巣箱づくり体験

(協力:国土交通省中筋川総合開発工事事務所)

野鳥の巣箱を手作りしてもらいました。



新企画

みんなでツルを観察しよう!ツル観察バスツアー

(協力:高知野鳥の会・国土交通省中村河川国道事務所)



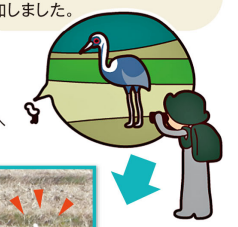
受付を終えた参加者は...



これまでのツル類の飛来状況や保護活動についての説明を受けました。



ツルが見える場所へ



飛来中のナベツルを観察するツアーを初めて開催しました。親子連れなど14名が参加しました。

この日は3羽のナベツルが確認できました。

うーん、探すの、なかなか難しい〜!



野草の解説付きで二度おいしい!

冷えた身体を四万十川自然再生協議会提供の野草がゆで温めました。



祭り会場へ



ツルの生態やその他の野鳥の話も聞きました。



双眼鏡や望遠鏡で観察しました。

ツルの里づくり Q&A



Q. ツルは何を食べているのですか?

主に稲刈りをした後に生えてくる二番穂をモミゴと食べますが、昨年、国土交通省がツルの糞を顕微鏡で分析してみると、植物の塊茎(地下茎が養分を蓄えて丸くふくらんだところ)も食べていることがわかりました。ツルが餌を食べている様子をよく見てみると、田んぼの土の中にくばしを突っ込んで餌をとっていることがあります。また、北に帰る頃にはカエルやバッタなどの動物を食べエネルギーを蓄えろといわれています。



四万十つるの里づくりの会 事務局



ツルの糞の中にあつた塊茎のかけら(顕微鏡写真)

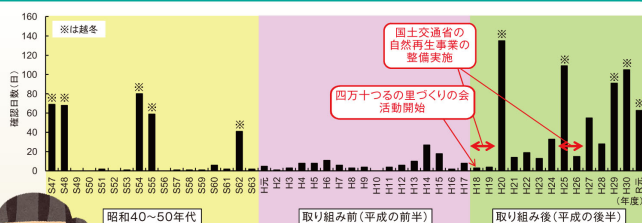


Q. 四万十市には、昔からツルが毎年のように来ていたのですか?

グラフのように、昭和40年代から50年代には、数年ごとにツルが越冬していましたが、平成になると越冬しなくなっていました。しかし、「ツルの里づくり」の取り組みを始めてからは飛来日数が増加し、今年も含めると14年間で5回越冬しています。



四万十つるの里づくりの会 事務局



四万十市におけるツル類の確認日数の推移

